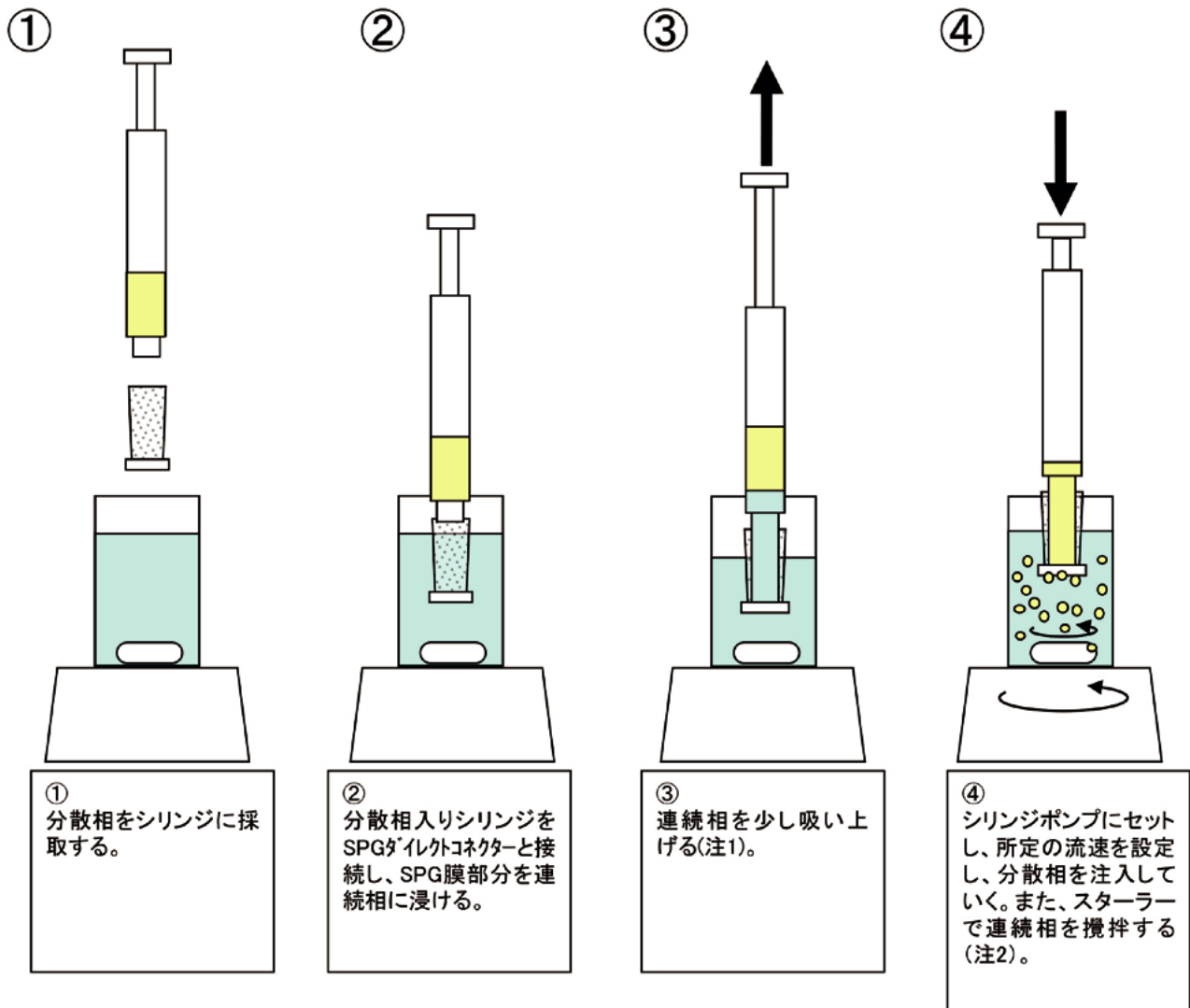


SPGダイレクトコネクター使用方法 直接膜乳化法

- * 直接膜乳化を行う場合は、シリンジポンプを使用してください。
手動では、分散相の流束がコントロール出来ない為、多分散になる恐れがあります。
シリンジスピード(乳化流束)はp3の値を参考にしてください。
- * 使用するシリンジポンプとスターラーは、デジタル表示で細かく設定できるものを、推奨いたします。また、シリンジポンプとスターラーを固定するスタンド、クランプ/ムッフ、ジャッキなども機器に応じて御使用ください。



注1 :
SPG膜を連続相で濡らすために行います。
SPG膜が乾いた状態で分散相に触れると、「膜濡れ」をおこします。こうなってしまうと単分散のエマルジョンが調製できなくなります。

注2 :
シリンジポンプの流速は、次頁を参考にしてください。
また、スターラーの回転数は、400RPM程度からスタートし、乳化液の粘度が高い場合は、回転数を上げて下さい。しかし、エマルジョンの粒子径が大きい場合や、組成的に不安定な場合、スターラーのせん断により、エマルジョンが壊れる場合があります。その際は、回転数を落とし状態を確認しながら行ってください。